

令和5年度

公益財団法人新宮町文化振興財団 事業報告書

第23期

自 2023年4月1日
至 2024年3月31日

公益財団法人新宮町文化振興財団

令和5年度 公益財団法人新宮町文化振興財団事業概要

本財団設立趣旨に基づき、新宮町の芸術文化の普及振興及び芸術・文化活動の活性化促進を図るため、幅広い分野で事業を推進いたしました。

令和5年5月8日以降、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付け変更に伴い、各種ガイドラインなどは廃止となりましたが、弊財団といたしましては、ご来場、ご参加の皆さまにご理解とご協力をお願いし、引き続き基本的な感染防止対策や衛生管理に務めながら、事業に取り組みました。

事業報告については、事業分野に沿って以下のとおりです。

(1) 芸術・文化の普及及び振興

伝統芸能1、講演1、音楽2の計4事業を実施。総(延べ)入場者数は2,029名でした。

「岡林信康コンサート」については、民間事業者との共催にて実施。

(2) 地域住民の芸術文化活動の活性化促進

未就学児を対象とした「おでかけそびあシリーズ」を3回開催。「ピアノリレーコンサート」では、コロナ禍においては募集定員を60組として開催しておりましたが今年度よりコロナ禍前の80組に戻して実施しております。また、ちいき文化支援プログラムでは民間事業者との共催にて「ゲッターズ飯田 開運トークライブ」を大ホールにて2回公演にて実施。チケットは短期間で完売するなど大変好評でした。

(3) 学習活動の機会提供

今年度より新規事業として「舞台芸術体験シリーズ」を2事業開催。「吉田兄弟」公演では終演後に出演者本人による体験会を実施しました。

地域住民参加型公演としてオリジナルミュージカル『時を超えるネコ2024』を創作、上演。本事業には一般財団法人自治総合センターより助成を受けました。

また、「そびあスポット講座」を夏と冬に各10講座を開催。

(4) その他目的を達成するために必要な事業

情報誌「そびあまがじん」を年4回発行。広告枠を設け、一定の収入を獲得しています。アクティブ新宮にて町内へ全戸配布。

友の会「Club Sophia」へは、567名の入会がありました。

新宮町からの受託事業として「新宮町平和祈念映画会」を開催。